



布ぞうりで、 復興再生。

ならは
福島県楢葉町



町内にはいまだ除染土の置き場が見られます。



布ぞうりグループ「わらじ組」では、2021年6月にもパルシステム東京で紹介され、300足にもなる注文をいただきました。
(撮影のためにマスクを外していただきました)

いつもわらじ組の力強さには 圧倒されます。

パルシステム東京 奥田 健太郎

復興支援団体の紹介でわらじ組との交流が始まって、早8年近く。避難生活や帰還後にもいろいろ大変なことがあったはずなのに、お会いするといつもみなさん元気いっぱいなのが印象的。常に前向きな姿に、これからもずっとつながり続けたい、という思いを新たにさせてもらえる存在です。



お問い合わせ先

「古Tシャツを寄付したい」「布ぞうりを購入したい」方は、以下の支援団体までメールをご送信ください。折り返しご連絡を差し上げます。

ならは盛り上げ隊
narahamoriagetai@gmail.com

帰還住民は震災前の6割。

「今はこんな田舎でも、コロナは怖いからねえ。みんなマスクはすっけど、おしゃべりで手が止まるのは相変わらずだ」と、おだやかな福島弁で語るのは、高木キヨ子さん（写真上の前列左からふたり目）。楢葉町の女性たち8名で集う、布ぞうりづくりグループ「わらじ組」の取りまとめ役として、早10年目を迎えました。

浜通り生まれ、浜通り育ち。農家に嫁いでからもずっと故郷で70余年、この地で暮らしてきました。「会津にいた5年を除けば、だけどね」と笑うキヨ子さん。原発事故後に福島県会津地方で仮設住宅暮らしを送っていたとき、古着のリサイクルで始まった布ぞうりづくりサークルに何気なく参加したのがきっかけでした。

「それが帰還してからも、こうしてみんなと続けられるなんて思ってもみなかったよねえ」避難指示が解除されたのは2015年9月。長らく主が不在で傷んでいた母屋や畑を修繕する日々が、心のよりどころになったのが布ぞうりづくりの仲間だったといいます。

「震災前は8000人いた町民すべてが避難してたでしょ。さあ帰っていいよ、って言われても、はいわかりました、ってすぐに帰れるもんじゃないよねえ」とキヨ子さん。長期化した避難生活にあって、生活基盤が避難先でできてしまった友人も少なくありません。

JR常磐線が2020年に全線開通したり、町では医療や福祉、商店などの生活機能を確保し、高齢者も安心して暮らせるようスモールシティ化が進められているとはいえ、町内に暮らす町民は現在、原発事故前の約6割にとどまっています。

パルシステムとの交流も 続いています。

「だからこそ、故郷に帰ってこれた人たち同士だけでも、つながり続ける場は必要なんだよねえ」

コロナ禍にあっても、感染防止には充分注意しつつ、週に一回は必ず集まって布ぞうりを編んでいます。材料はパルシステムの組合員をはじめ、全国から寄せられた古Tシャツ。色とりどりに編まれた布ぞうりは、地元で再開した道の駅で土産物として販売されたり、2年前からは「ふるさと納税」の看板商品になるなど、楢葉町を代表する「顔」にもなってきました。

「何より、パルシステム東京さんには頭が上がりたくないのよ」と、この8年あまり、交流を重ね、布ぞうりの販売も行ってきました。「町の将来は案じないわけではないけど、そうしてつながり続けてくださる方々がいるっただけで、私たちが忘れられてないんだ、明日も頑張ろう、って思えるわけ」とキヨ子さんたち。

少しずつとはいえ、子どもたちの帰還も増えてきています。じつはキヨ子さんの元にも、長年離れていた息子家族が孫ともども昨年帰還したとか。震災前に営まれていた、ひとつ屋根の下での大家族の光景がよみがえっていました。

「一度廃校になった小学校が来年度から再開することにもなったの。子どもたちの声が町内で聞けるかと思うと、それだけでもうれしい。復興再生はまだ途中だけど、元気がなくなって故郷の姿を、子どもたちにはもったもった見せていきたくないねえ」と、キヨ子さんたちの布ぞうりづくりはこれからも続きます。

放射能検査状況について

2021年度の検査数(カッコ内は検出件数) / 2021年8月5日現在
※最新の検査状況は下記左側の二次元コードよりご覧いただけます。

総計: 794(9) 不検出率: 98.8%

2020年度の検査数 総数2138(31) 不検出率98.6%

青果	206(0)	2020年度、れんこん(3.5~7.8Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	13(9)	2021年度は生しいたけ(5.5~20Bq/kg)、岩手県産乾しいたけ・小粒どんこ(21Bq/kg)、2020年度は冷凍食品の産直原木しいたけ(11Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	13(0)	2020年度に続き、8月5日現在で放射能の検出はありません。
米・米飯類	1(0)	2020年産米の検査は27産地29検体の玄米で検査し、栃木こしひかり(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。白米で再検査したところ不検出でした。※放射能の多くはぬか部分に蓄積します。検出された栃木こしひかりは白米でのお届けとなります。(2021年産新米は8月より供給予定で、8月中旬に検査予定です)

牛乳、肉、卵	25(0)	産地ごとに定期的に検査しています。2020年度に続き、8月5日現在で放射能の検出はありません。
魚介類	39(0)	2020年度に続き、8月5日現在で放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	27(0)	2020年度に続き、8月5日現在で放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	78(0)	2020年度に続き、8月5日現在で放射能の検出はありません。
その他加工食品	392(0)	2020年度、ほしいも(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



- 週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。
- インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・
パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき
パルシステム 0120-868-014 月~金曜日:9時~20時 土曜日:9時~17時
※通話料は無料です。 ※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲斐センター ■0120-28-5891 高崎センター ■0120-60-5118
西桂センター ■0120-32-1061 渋川センター ■0120-36-3315
一宮センター ■0120-21-9898 東毛センター ■0120-63-3735
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。